

令和元年度第1回地域創生推進市民会議（令和元年8月5日） 外部評価結果について

※評価シート回収数：16

No.	事業名	外部評価における評価		効果検証等に関する意見・コメント	その他
1	未来を拓く喜多方人育成プロジェクト事業（企画調整課）			・人口流出に歯止めをかける政策、企業を育てることも必要。 ・事業に対するニーズはあったが、事業のPRが不足していたのではないかと思います。適切にPRしていれば、もっと多くの団体が利用したと思う。 ・若い世代、子どもたちの育成プログラムのような内容を期待したい。	
2	「住むなら喜多方！」若者定住促進事業（地域振興課）	1 事業の拡充が必要	5名	・「魅力ある喜多方」とは、種々の観点から検討していく必要がある。各地区のミニ集会の様な形式で話し合うのはどうか。 ・従業員確保の為に更なる活動を進めてほしい。 ・若者が定住し、社会へ参加することで市の活性化につながる。しかし、メインが補助金などでは、効果が限定的なのではないか。 ・全国規模で人口減少が進むなか、人口増の対策としては、住宅取得への支援は効果的である。定住の条件として、生活環境、交通の便が重視されると考える。次期計画では、御殿場における都市計画（用途区域）を見直し、住居用の土地を拡大することで、現状で人口増加している地域への集中した対策が必要。 ・家の提供が主ではなく、魅力的な仕事や人間関係があるから住んでみたいと思えるような事業内容を希望する（事業No. 3についても同様）。	【未評価 1名】 ・取組状況及び今後の方針には賛成だが、市のHP、チラシの配布、不動産会社や金融機関への周知が必要である。事業No. 3との一本化も検討していただきたい。
		2 事業の継続実施が必要	6名	・移住希望者は会津管内の自治体を実施する同制度を比較検討し、経済面を重視し移住先を決定している。 ・引き続き、若い世代の獲得に努めていただきたい。	
		3 事業内容の見直しが必要	4名	・補助対象を市内外の若者から市外の者へ見直すべき（市内と若者を除外）。 ・中古住宅の取得を奨励する方向にシフトしてほしい。新築を支援するのは、住宅過剰・空き家増加につながり問題があると考ええる。 ・市外への流出は防げたかもしれないが、転入者数は少なく、不公平感もある。 ・県外からの移住者に限定すべきである。	
3	喜多方田舎暮らし支援事業（地域振興課）	1 事業の拡充が必要	6名	・空き家対策事業と併せ、田舎暮らし体験を実施していただきたい。 ・空家の利用に加え、コンパクトスモールハウスの新設補助を入れる。 ・事業No. 2と関連付けし、事業を実施していただきたい。 ・Airbnbなど古民家や空き家を新しく貸し出しするサービスがある。まず一度住んでもらえる環境体制を作るべきではないか。No. 2の事業と同じように補助金だけでは効果が薄いと感じる。 ・移住希望者に「喜多方」を選択してもらうために、あと一押し、「押しの一手」を期待する。	【未評価 2名】
		2 事業の継続実施が必要	8名	・空き家対策の強化を引き続きお願いする。	
		3 事業内容の見直しが必要	0名		

No.	事業名	外部評価における評価		効果検証等に関する意見・コメント	その他
4	喜多方市少子化対策結婚支援事業 (こども課)	1 事業の拡充が必要	5名	・人口減少の歯止めの決め手。若い世代に限定せず、40～50代にも対象を拡大すべき。 ・結婚しない若者が地方だけではなく都心部にも多く、我が国の未来の不安度を反映している。 ・婚活イベントで終わる事なく、1組でも多く成婚できるよう努力する。また、それを可能にすべく、世話やき人の組織化、および生業となりえるような考えをとり入れてはどうか。 ・ガチガチのイベントではないとのことだが、ある程度の結果を求めるためには、きちんとした目標に沿ったイベントの開催をするべきでは？事業No. 2、No. 3、No. 7のK P Iの元になる事業でもあると思う。	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	7名		
		3 事業内容の見直しが必要	3名	・廃止。 ・「世話やき人」の方々が、がんばってくださる事業については、全面的にバックアップしてほしい。	
5	子ども総合相談事業 (こども課)	1 事業の拡充が必要	2名	・父親の育児参加が積極的になっていると感じる。より育児に参加しやすい取組を増やしていただきたい。 ・どんどんやって頂きたい。	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	12名	・子育てサポートセンターで学習会が催され出席させて頂き、登録メンバーにもなっているが、今後の跡地整備の際に、遊び場なども併設し、子どもが一日中自由に活動できる広い設備で誰でも利用できるシステムに出来たらよいと思う（事業No. 6についても同様）。	
		3 事業内容の見直しが必要	1名	・父子手帳の効果は？父親の育児参加について、別のアイディアはないか。	
6	ファミリーサポートセンター利用者助成事業 (こども課)	1 事業の拡充が必要	2名	・大変良い事業なので拡充してほしい。 ・サポートが必要な方々をしっかりとサポートしてほしい。	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	13名	・この助成は、制度利用者の皆さんがありがたいと言われる。長期継続をぜひお願いしたい。	
		3 事業内容の見直しが必要	0名		

No.	事業名	外部評価における評価		効果検証等に関する意見・コメント	その他
7	多子世帯保育料軽減事業 (こども課)	1 事業の拡充が必要	1名	・少子化対策の一環として、3人以上の子どもを安心して育てていくために必要な事業。	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	12名		
		3 事業内容の見直しが必要	2名	・人材育成には教育が必要不可欠。教育に特化すべき。 ・保育料の無料化とのかねあいは？個人的には非常に助かった事業。	
8	出産・育児のための離職者への支援事業 (こども課)	1 事業の拡充が必要	0名		【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	13名	・核家族に成らず、昔の家庭事情の様に3世代同居の形をとれば、大概が解決できるのではないかな。 ・周知を徹底すべきである。	
		3 事業内容の見直しが必要	2名	・ニーズがあるのか疑問。 ・企業がそれぞれ対応すべきではないかな。	
9	私立保育施設保育士等処遇改善事業 (こども課)	1 事業の拡充が必要	1名	・待機児童0人の実現を図るために大切な事業である。	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	12名		
		3 事業内容の見直しが必要	2名	・私立保育士の処遇改善に特化する。 ・保育士の処遇改善が、人口増につながるとは思えない。	
10	多職種連携による課題解決に向けた推進体制の検討・構築 (高齢福祉課)	1 事業の拡充が必要	0名		【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	15名	・高齢者の企業就職の現状。いきいき高齢者数の実数。 ・今年4月に亡くなった母親の介護を通じて、医療と介護の連携の重要性を痛感した。病院、特に医師周辺にもっと介護に精通した人材がいてくれないと困ることが多い。	
		3 事業内容の見直しが必要	0名		

No.	事業名	外部評価における評価		効果検証等に関する意見・コメント	その他
11	介護職員養成・就労定着化事業（介護パワーアップ事業）（高齢福祉課）	1 事業の拡充が必要	6名	・准看護高等専修学校に介護養成科を新設すべき。 ・少子高齢化は進展していくばかりなので、いかに元気な高齢者が同世代の面倒を見ていくか、その方向に目を向ける必要がある。 ・介護は大切な仕事であるが、大変な割に給料は安い。このあたりの改善が重要。 ・外国人を含む介護人材の掘り起こしと定着を図る方向へと内容を見直して進めていただきたい。 ・これから確実に必要になってくる介護職員については、優先順位は高く考えて頂きたい。事業所等とコンセンサスをはかり、人数は実数を以ってK P I とすべき。現状の人手不足は環境などが大幅に変わらなければ埋められない。 ・給与をもっと高くできるような市独自の支援を。	
		2 事業の継続実施が必要	7名	・介護職員を増やすことも必要だが、同時に介護を必要としない健康な人を増やす事業も必要である。	
		3 事業内容の見直しが必要	2名	・介護職員の処遇改善にもっと力を注ぐべき。今後、高齢化が進む中で、人材不足が必死である。 ・国・県事業との重複をなくし、市・地域に則した事業にしてほしい。 ・元気な高齢者を対象とした、介護助手を育成する施策も必要。	
12	看護職就学・就労支援事業（保健課）	1 事業の拡充が必要	1名	・地元就職増加のため、就職支援を強化。	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	13名	・ぜひ市内での就労に結び付くよう、支援を続けていただきたい。	
		3 事業内容の見直しが必要	1名	・准看護学校への入学者が減少していることの要因を分析し、その対応策を盛り込んだ内容で進めてほしい。	
13	喜多方市地域・家庭医療センター家庭医養成機能強化事業（保健課）	1 事業の拡充が必要	1名	・病院跡地の整備で想定されている中にこのような分野も含まれているのか。	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	13名		
		3 事業内容の見直しが必要	1名	・利用者（患者）も多く、既に地域への定着が図られているのではないか。	
14	かかりつけ医による家庭内血圧見守り（在宅医療支援）事業（保健課）	1 事業の拡充が必要	2名	・どのような人が利用できるのか、どこへ行けば利用できるのか、といった情報をわかりやすく広めれば、利用者増加に期待出来ると思う。 ・事業を拡充していただき、さらに周知させていただきたい。家庭での管理を勧めてもらえるようにしていただきたい。	【未評価 2名】
		2 事業の継続実施が必要	11名		
		3 事業内容の見直しが必要	1名	・市民への周知が十分でない。	

No.	事業名	外部評価における評価		効果検証等に関する意見・コメント	その他
15	きたかたの“農”を支える担い手支援事業（農業振興課）	1 事業の拡充が必要	3名	・農業生産法人の育成強化。 ・山間部だけでなく、町内の農地においても利用されていない所が目立つ。そういった農地が利活用されることを望む。 ・将来を見すえた事業内容にしてほしい。	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	12名	・単なる産業の一つとしてではなく、喜多方における「農」のイメージを考え、新規就農対象者にも夢を持ってもらえるようなブランド化を図るべき。	
		3 事業内容の見直しが必要	0名		
16	きたかたの、農の交流、モニターツアー事業（農業振興課）	1 事業の拡充が必要	0名		【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	13名		
		3 事業内容の見直しが必要	2名	・観光分野でも同じ指摘を受けることが多いが、モニターツアーは費用対効果の点で疑問が多い手法である。事業を見直してほしい。 ・事業内容の充実を期待する。	
17	“来て 見て 触れて” きたかた農業研修・生活体験事業（農業振興課）	1 事業の拡充が必要	1名	・受入農家の育成強化。	【未評価 2名】
		2 事業の継続実施が必要	10名		
		3 事業内容の見直しが必要	3名	・結果を見ると「地域間競争」に負けている気がする。「体験」を経て、就農に結び付く経路の拡充も含めた対応を希望する。	